

品川駅周辺地区 地区計画
品川駅周辺土地地区画整理事業
都市計画道路（補助線街路第332号線）

都市計画（素案）の概要

東日本旅客鉄道株式会社

2. 国家戦略都市計画建築物等整備事業（都市計画法の特例活用）による都市基盤整備

都市基盤整備

・JR品川車両基地跡地における国際交流拠点形成と品川駅周辺地区における段階的まちづくりを推進するため、道路、公園等の都市基盤を先行整備し、新・国際都市に相応しい街区を形成する。

品川駅周辺地区 地区計画

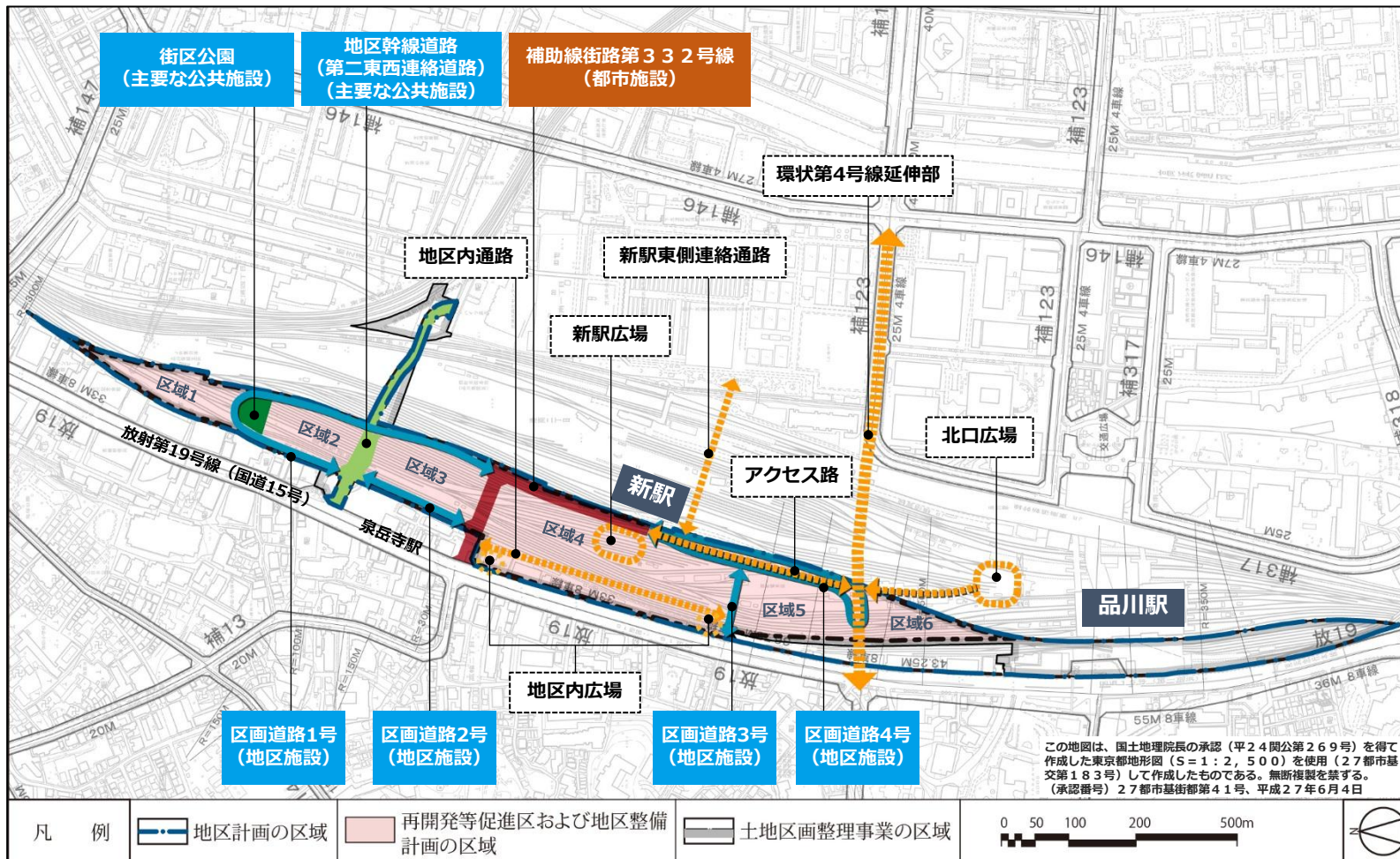
国際交流拠点の形成に向けたまちづくりの将来像や将来像の実現に必要な主要な公共施設及び地区施設を地区計画として定める。

品川駅周辺土地地区画整理事業

品川駅周辺地区の段階的なまちづくりを推進し、道路、公園等の都市基盤整備を進めるため、土地地区画整理事業区域を定める。

都市計画道路（補助線街路第332号線）

2020年の新駅暫定開業にあわせアクセス路を整備するため、国道15号から新駅に接続する道路を都市計画道路として定める。



3. 国際交流拠点の形成に向けたスケジュール

成長し続ける街

・東京オリンピック・パラリンピックを見据えた暫定利用と、その後の街びらきを契機として、国際交流拠点として成長し続ける街を目指す。

まちづくりの
将来像を描き、
先行して基盤整備

地区計画

土地区画整理事業

都市計画道路

日本の魅力発信



新しい街の魅力発信



《エキマチ一体開発》

※イメージ

国際交流拠点
としての成長
《新・国際都市》

街びらき
(一部開業)



《ストリート型まちづくり》 ※イメージ



リニア中央新幹線開業 (予定)

暫定利用

東京オリンピック・
パラリンピック

新駅の暫定開業

現在

2015年

2020年

2027年

2030年代～

4. 国際交流拠点の形成イメージ

新・国際都市

・新しい街を舞台として、「移動・交流」「環境」「ジャパンバリュー」の3つを重点テーマに次世代ビジネスを継続的に創造する。

人々の移動と交流をスムーズで活発にしていく先進テクノロジーの育成



次世代モビリティ等



最先端ICT技術活用等

移動・交流

重点的に創造する次世代ビジネステーマ

環境

世界の規範となる、環境・経済の両面で持続可能な都市開発モデルを確立



再生可能エネルギーの利用促進等により温室効果ガスの削減に積極的に貢献



ジャパンバリュー

交通ネットワークが結ぶ人や地域の魅力を循環し育てる仕組み

日本各地

※イメージ

観光・体験

モノ・コト・技術

品川

ジャパン・デパートメント

ワンストップで日本を紹介・体験各地へつなげる旅のサポート

次世代モノづくりLABO

デザインからビジネス化までプロフェSSIONALによる仕組み化



交流 × 価値創造

インバウンド集客

発信・プレゼンテーション

世界各地

※グローバル人材が集う国際都市でありながら、「日本の魅力・価値（ジャパンバリュー）」を発信し、新たなビジネスや各地への人流を創出する

次世代ビジネスモデル実現のための“場”を提供

※施設計画については今後深度化を進める

ビジネス・文化交流機能

国際交流拠点に相応しい機能を集積した複合都市の形成



宿泊・商業・居住機能



文化・エンターテイメント



MICE

ビジネス支援機能

グローバル企業・ベンチャー企業等の多彩なニーズを支える場・サービス



交流支援・インキュベーション支援